# Thank you Report 2023

## 大阪自然史センターを支えてくださりありがとうございます

昨年は新人二人を迎え、新たなワークショップも受注できました。
館では二つの特別展が開催され、ショップも好調でした。
自然史フェスが開催できたことも喜びです。
今後もご支援をお願いします。

理事長 梅原 徹

## 2023 できたこと

基盤づくりから展開へ、次を一緒に目指せる仲間に恵まれた年になりました！
川上和歌子

西宮市貝類館での子どもワークショップがはじまりました！念願の陸前高田市博でイベントもできてうれしい！
ニシザワマキコ

新スタッフや大学生ボランティア…人材育成に注力した1年でした 次の世代につなげていきたいです
山中あきこ

子どもワークショップを通して、自然や生きものの普及に携わることができました！
神山 雄人

自然史博物館のミュージアムショップだからこそ生みだせる学びと楽しさに気づけた2023年でした！
坂田洋乃

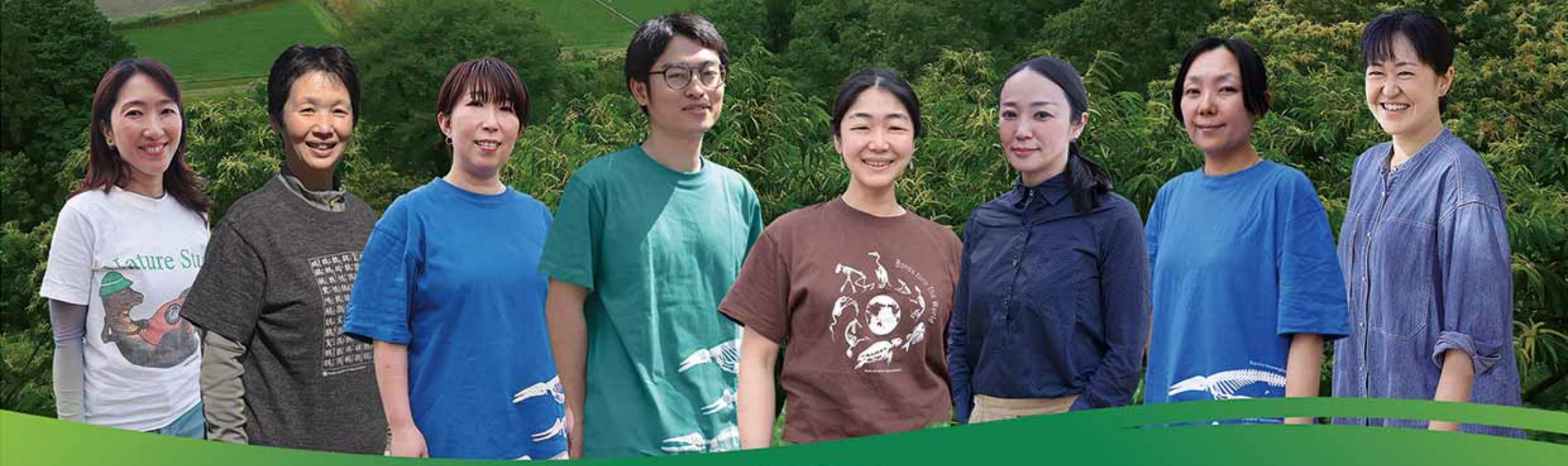
KONCの事務だけでなく、さまざまな「現場」にかかわることができて、うれしかったです。
大久保 その子

いつもミュージアムショップへのご来店、ご声援ありがとうございます。スタッフやアルバイトさんより力をもらって怒涛の1年を乗り越えられた事。
楠高加奈子

大人から子どもまで皆が楽しむ大阪自然史フェスティバルの20周年に関わる事ができた事「大好き」のパワーは素晴らしい!!
友澤貴子

専業主婦からの社会復帰!! あたたかくご指導いただき安心して働く事ができました。
仲本佑美子

大好きな博物館で福祉の視点を伝えるきっかけを作ることができました。
竹村 望



はくラボ 認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター

# たくさんの方のご支援と応援が大阪自然史センターの活動の力になっています。

2023 Challenge

## 「社会と自然と博物館」をつなぐ次世代の人材を育てたい！

大きな課題であった、次世代の人材育成事業を本格的にスタートさせる事ができました。2023年5月に実施した「学生・若手のインターン制度」人材育成のマンスリーサポーター募集キャンペーン第一期では、73人もの皆様にご登録を頂きました。博物館で活躍する若手の体験の場を皆様と共に作りあげたいと思います。博物館の可能性を広げつづけて20年。「社会と自然と博物館をつなぐ」活動を次の世代にしっかり手渡す活動を前に進めます！

若者が博物館での活動を通じて、学びや成長の機会を得ることができるよう、支援していきます。

インターン生と打ち合わせ。「大阪市立自然史博物でこそやってみたい！」を実現できるメニューを、相談しながら組んでいます。

## 西宮市貝類館でのワークショップ業務が開始

大阪自然史センターは2023年6月より、公募型プロポーザルを経て、西宮市貝類館の教育普及事業を受託しました。日本の貝類学の礎を築いた黒田徳米博士の学術資料を核として1999年に開館した博物館です。子どもから大人まで、貝に親しめるプログラムを毎月実施します！

## 西宮市立西宮支援学校で出前授業を実施

全校生徒61名のみなさんと世界の貝を触って観察。冷たかった貝の標本が温々になるくらい、しっかりたっぷり観察してくれていました。

西宮市貝類館。学習室でのワークショップ受付の様子。2023年はのべ1249名が参加しました！

特別支援学校へ。貝類館から運んだ世界の貝。重さや触り心地が違うものを選んでいます。砂に隠した貝を手で探すプログラムも人気でした

## 大阪市立自然史博物館友の会

### 行事がほぼコロナ禍前に戻りました

会報誌の数「Nature Study」発行数 **12**冊

自然観察などの行事数 月例ハイキング 友の会イベントなど **37**回（2回雨天中止）

入会した市民（うち賛助会員115名） **1,701**名

野外観察会、バックヤードツアー、友の会秋まつりなど…友の会は年中通して行事がいっぱい！春の磯では海藻を採ってみんなで食べたり、秋まつりでは鳥の羽根で羽根ペン作りをしました。友の会会員数もコロナ禍前に戻り、新入会も増加。世代を超えて自然活動を行っています。

## 東北支援事業

### 陸前高田市立博物館 念願の子どもワークショップ

東北の博物館の精鋭たち。2014年に制作した着ぐるみも現役！

11年ぶりに再開館した博物館を会場に、東北の仲間たちと子どもワークショップを開催しました。館内に隠れた博物館のキャラクター・せき坊のカード100枚を探し出すワークショップは、今でも子どもたちが楽しんでいるそうです。長期にわたりご支援いただいた皆様に感謝します。

## 大阪自然史フェスティバル　ホネホネサミット

### 大阪自然史フェスティバル20周年！

学芸員、大阪自然史センター、大学生のスタッフ

2023年に開催 **20**周年を迎えました！

出展ブース数 **125**ブース
北海道から沖縄まで！海外からも参加団体がありました！

来場者数 **19,000**人

出展団体や来場者の活発な交流が生まれるイベントに成長した自然史フェスティバル、皆さんのサポートで20年目を迎えることができました。

### ホネホネサミット2023開催

各ブースのようす

開催回数 **5**回目

出展ブース数 **42**ブース

来場者数 **5,000**人

田島木綿子さん（国立科学博物館）

博物館や大学などを舞台に骨格標本を作製している団体や個人、その他さまざまな形で骨格標本づくりに関わっている人たちの交流の場として開催しています。

## ワークショップ

### 自然史科学を分かりやすくより身近に

「せめる・まもる　恐竜のかたち」の様子

大阪市立自然史博物館
「子どもワークショップ」

大阪市立自然史博物館で子ども向けワークショップを毎月実施。展示や標本をもとに、学芸員さんと一緒にたのしくお話して、分かりやすく学びました。

出張「子どもワークショップ」

動物園や商業施設などでワークショップを実施しました。標本をじっくり見たり工作をしたり…博物館を飛び出して、自然や生きもののことを伝えました。

イオン藤井寺にて「コケ・こけ・キューブ」

（出張子どもワークショップ実施先）
イオン藤井寺、りんくうシークル、茨木市、五月山動物園

## ミュージアムサービス

### 自然史科学のつながりを作る窓口に

上：イベント「いきもにあ」出張ショップのようす
下：オリジナルグッズ撮影のようす

グッズ制作数 **6** シリーズ

イベント参加出展 **6** 回

特別展で大盛況だったミュージアムショップは、今年過去最高売上を記録！今後もグッズ開発、イベント出展を積極的に行います。ネットショップやイベント出展を通じて北海道から沖縄まで多くの方々に博物館の掲げる趣旨に沿って自然史科学の普及教育活動の一翼も担う活動を目指します。

（出張 Shop）
いきもにあ、博物ふぇす 2023、神保町ヴンダーカンマー（東京）、京都ヴンダーカンマー、骨々展 2023、わくわく野鳥博など

## 関西自然保護機構（KONC）

### 生物多様性保全の拠点

シンポジウムや講演会の開催、研究助成・会誌の発行等、例年通りに活動しました。大阪自然史フェスティバルのブースでは、蝶などの生きものを展示して大盛況でした。

大阪自然史フェスティバル KONC ブース

## 調査研究事業

### 自然史科学の振興発展のために

大阪府能勢町

「能勢町の大切にしたい生きもの（能勢町版レッドリスト）」376 種の選定など、生物多様性保全に関する調査を受託しています。写真は 2021 ～ 2022 年に調査した能勢の山のようす。シカの影響も大きいが、それでも自然の豊かさを感じる地域でした。

←詳しくはこちらをご覧ください

### 剥製の製作・修復

アホウドリのクリーニング

剥製の製作や古い標本のクリーニング、修復作業を通じ、地域の自然の記録を未来に残すお手伝いをしています。

## 高槻市立自然博物館　あくあぴあ芥川

### 高槻市指定管理事業として運営

高槻の自然、生きものを行事や展示で紹介し、多くの人に自然の楽しさを伝えることができました。子ども向けワークショップを毎月実施しています。

魚とり講座のようす

## ＼ わたしたちの活動がメディア掲載されました ／

**TV**

- 2023 年 2 月 23 日【TV】TBS 系列「マツコの知らない世界 - 博物館グッズの世界 - 」
  ミュージアムグッズ愛好家大澤夏美さんがオリジナルグッズを紹介してくださいました。
- どうぶつ科学コミュニケーター大渕希郷さん
  TV や各メディアなどで、オリジナルグッズ「鳥へんＴシャツ」「木へんＴシャツ」などを着て出演してくださいました。

**新聞**

- 2023 年 2 月 14 日【朝日新聞】「美術館博物館 気になる一品リターンズ」
  オリジナルグッズが掲載されました。
- 2023 年 7 月 21 日【毎日新聞】「地域から　- グッズを通じて新たな興味を -」
  オリジナルグッズの想いが掲載されました。

**雑誌**

- 2023 年 1.2 月号合併号 vol.273 と 5 月号 vol.276【ボランティア・市民活動情報誌 comv】
  「特集　都会の小さな自然を見つめ学び、守り、未来をつなぐ」で大阪自然史センターの活動やこどもワークショップの活動が掲載されました。
- 2024 年 1 月号 97 号【雑誌】BIOCITY「特集　自然史博物館が拓く新時代 - 自然と人をつなぐために -」
  西澤が執筆した「NPO が支える博物館コミュニティ」が掲載されました。

どうぶつ科学コミュニケーター大渕希郷さんの X より

BIOCITY　2024 年 1 月号 97 号

# 2023年会計報告

## ■活動計算書

（2023年1月1日から2023年12月31日まで）　※概要版

| 科目 | | | 金額（円） |
|---|---|---|---|
| 経常収益 | 受取会費 | 正会員会費 | 78,000 |
| | 受取寄付金 | 友の会事業寄付金 | 1,254,990 |
| | | 自然保護・自然環境保全に関する事業寄付金 | 509,775 |
| | | 普及教育事業寄付金 | 1,930,197 |
| | | その他の寄付金 | 955,059 |
| | 事業収益 | 友の会事業収益 | 5,189,521 |
| | | ミュージアムサービス事業収益 | 56,964,907 |
| | | 調査・研究受託事業収益 | 3,515,968 |
| | | 普及教育事業収益 | 16,048,304 |
| | | 自然保護・自然環境保全に関する事業収益 | 4,638,404 |
| | | 施設運営管理事業収益 | 55,269,200 |
| | その他収益 | 雑収益 | 1,951 |
| | | 受取利息 | 171 |
| | | 棚卸資産増加益 | 3,459,008 |
| | 経常収益　合計 | | 149,815,455 |
| 経常費用 | 事業費 | 給料手当 | 27,281,387 |
| | | 臨時雇賃金 | 21,747,994 |
| | | 福利厚生費 | 5,810,542 |
| | | 諸謝金 | 2,226,029 |
| | | 旅費交通費 | 1,734,560 |
| | | 会議費 | 25,190 |
| | | 消耗品費 | 3,560,776 |
| | | 印刷製本費 | 4,230,461 |
| | | 光熱水道費 | 7,539,810 |
| | | 燃料費 | 1,000 |
| | | 修繕費 | 2,075,635 |
| | | 通信運搬費 | 2,891,896 |
| | | 保険料 | 284,763 |
| | | 委託料 | 6,215,968 |
| | | 賃借料 | 59,000 |
| | | 調査研究費 | 3,159,716 |
| | | 助成金 | 408,580 |
| | | 租税公課 | 2,812,727 |
| | | 雑費 | 3,757,705 |
| | | 仕入費 | 34,803,490 |
| | | 販売手数料 | 1,769,648 |
| | | 支払報酬料 | 506,110 |
| | | 減価償却費 | 42,768 |
| | | 事業費　合計 | 132,945,755 |
| | 管理費 | | 6,501,271 |
| | その他支出 | 雑損失 | 5 |
| | 経常費用　合計 | | 139,447,031 |
| 当期経常増減額 | | | 10,368,424 |
| 当期正味財産増減額 | | | 10,368,424 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 69,898,948 |
| 次期繰越正味財産額 | | | 80,267,372 |

## ■貸借対照表

（2023年12月31日現在）

| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目 | | 金額（円） | 科目 | | 金額（円） |
| 流動資産 | 現金及び預金 | 48,888,250 | 流動負債 | 未払金 | 750,914 |
| | 売掛金 | 1,003,181 | | 預り金 | 5,793,027 |
| | 商品 | 18,747,573 | | 仮受金 | 5,535,080 |
| | 未収入金 | 17,943,796 | | 流動負債　合計 | 12,079,021 |
| | 仮払金 | 245,526 | | 負債の部　合計 | 12,079,021 |
| | 事業積立金 | 4,899,080 | 正味財産の部 | | |
| | 流動資産合計 | 91,727,406 | 正味財産 | 前期繰越正味財産 | 69,898,948 |
| 固定資産 | 工具器具備品 | 64,152 | | 当期正味財産増減額 | 10,368,424 |
| | 差入保証金 | 554,835 | | 正味財産　合計 | 80,267,372 |
| | 固定資産　合計 | 618,987 | | 正味財産の部　合計 | 80,267,372 |
| 資産の部　合計 | | 92,346,393 | 負債及び正味財産の部　合計 | | 92,346,393 |

大阪自然史センターが

## 「認定 NPO 法人」認定更新いたしました！ 2024 年 3 月 31 日～ 2029 年 3 月 30 日

2023 年度は、大阪自然史センターが NPO 法人化して 22 年、また 2014 年 3 月に認定特定非営利活動法人となって 10 年の節目となりました。この度、2024 年 3 月に更新完了することができました。皆さまのご寄付は引き続き、税額控除の対象となりますので、ぜひ確定申告をご活用ください。これからも、「社会と自然と博物館をつなぐ～自然を見つめ、自然から学び、自然を楽しく伝え、自然を大切に思う気持ちを育む～」というミッションの中で、大阪市立自然史博物館と長年培ったパートナーシップを生かし、人も自然も生き生きできる社会を目指していきます。

＜表紙の写真＞　上：ウリハダカエデ新緑　下：能勢町、下田尻、猪の子峠　2023 年撮影　**丸山 健一郎**（大阪自然史センター理事、橿原市昆虫館友の会、ナチュラリスト）


はくラボ

**認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター**

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23

TEL 06-6697-6262　FAX 06-6697-6306

http://www.omnh.net/npo/



第一次募集 146%達成！

マンスリーサポーター
引き続き受付中です

大阪自然史センター 検索

http://www.omnh.net/npo/

SNS

活動内容は Facebook，X から！

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C005144
この製品は、FSC® 認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。